

受診のためのサポートシート（予診票）

このシートは、医療機関での受診をスムーズにおこなうためのものです。
わかる範囲でできるだけ具体的に記入して、受診時に活用してください。



名前 _____ 呼び名 _____ 年齢 _____ 性別 _____

診断名など

これまでに経験したことのある診察、検査に ○ をつけてください。

困難だったものには △ をつけてください。

聴診 触診 喉を見る 耳鼻科診察 聴力検査 耳垢とり 眼科診察 視力検査
点眼 採血 点滴 予防注射 脳波 レントゲン CT MRI 心電図
超音波検査 傷の縫合 歯科 入院 手術

その他 (_____)

いやがること、苦手なこと、怖がることなどに ○ をつけてください。

体を触られること 耳を触られること 頭を触られること 喉を見られること（舌圧子）
ベットに寝ること 待つこと 大きな声 小さい子どもの泣き声
たくさん話しかけられること 命令口調で話されること 人が多いところ 暗いところ
初めての場所 初めての人 白衣 注射 口を開けること 口に触られること
仰向けに寝ること 大きな機械音 掃除機などの吸引音

その他 (_____)

飲むことのできる薬の種類に ○ をつけてください。

錠剤 カプセル 粉薬 シロップ

※薬の飲ませ方で、工夫していることや注意することがありましたらお書きください。

（例：味のない粉薬や水薬なら飲み物に混ぜて飲ませられる 粉薬はゼリーに混ぜると飲みやすい）

理解できる時間の示し方に ○ をつけてください。

時計（アナログ・デジタル） キッチンタイマー 数を数える（ _____ ）くらいわかる

その他 (_____)

どのように伝えたらわかりやすいですか？（医師など→本人）

（本人が理解できる方法に ○ を、限定されていたり不確実なものに △ をつけてください。）

実物を見せる 写真を見せる 絵を見せる 文字で書いてみせる やってみせる
指さし 日常よく使う短いことばで伝える 少し長い文でも理解できる

工夫していること（ ）

他の人に自分の意思や状態をどのような方法で伝えることができますか？（本人→医師など）

（本人が伝えることができる方法に ○ を、限定されていたり不確実なものに △ をつけてください。）

話し言葉でいろいろなことを自由に伝えられる ことばを話すは伝えられることは限られている
わかっていなくても「はい」や「大丈夫」と返事をする みぶり 文字 絵カード
写真カード 実物を示す 手をひっぱる VOCA（携帯用会話補助装置による（種類

その他（ ）

好きなもの・好きなことを書いてください。（おもちゃ、キャラクター、食べ物、趣味など）

特に「気持ちの切り替え」「心がやすらぐ」もの・こととして使えそうなこと。

（例：電車が大好き アイスが大好物 ふわふわしたものがお気に入り）

パニックになってしまった時の対応はどのようにされていますか。

（例：しばらくそっとして待つ 声を掛けられると余計に混乱する）

待ち時間はどのようにされていますか。

（例：ほとんど待てない 絵を描きながらなら待てる 個室など静かなところでないとられない）

その他、気を付けなければならないこと。

（例：多動でじっとしてられない 前に嫌なことがあったので診察台に座るのを拒否する
急がされると混乱する ゆっくり時間をかけるとできる）

～ 大和郡山市地域自立支援協議会 ～

2018年1月

（NPO 法人 PandA-J 及び一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会発行のパンフレットを参考に作成）